

2022 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|--|---------------------|-----------------|--|-----------|---|---------------|
| 学 科 | 看護学科 | | 科 目 区 分 | その他 | 授業の方法 | 講義演習 |
| 科 目 名 | 総合看護技術 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年 | | 学期及び曜時限 | 通年 | 教室名 | 3年生教室 |
| 担 当 教 員 | 横山 加奈子 看護学科 専任教員 | 実務経験と その関連資格 | 医療施設にて看護師として勤務していた。 | | | |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>看護師になるための基本的知識、各分野において必要とされる状況判断能力や、実践のための応用力などの定着を図る。3年間の学習による総合的学力評価のために行った模擬試験を評価し個々の知識を確認する。弱点克服のため、既習の知識の振り返りを習慣化することで学力の定着を狙いとするため。</p> | | | | | | |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>技術演習(レポート・演習態度:30) 知識の統合として、模擬試験の結果:70 年間模擬試験を行い(別紙 模擬試験スケジュール参照)統合した知識が身についているか、国家試験合格レベルに到達できているか評価します。</p> <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>基礎看護学、老年看護学、成人看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学等</p> <p>外部模試、校内模試、看護師国家試験問題集、各領域教科書</p> | | | | | | |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>技術演習は、複数患者の看護を考え、優先順位や対象の状況の応じた看護計画や実践が行えるよう学習や技術のシミュレーションをしておきましょう。計画的に国家試験問題集等を活用し学習すること。必修問題は夏休みまでに8割とれるよう繰り返し問題を解きましょう。各試験の後は必ず振り返りを丁寧に行い、自分がどこを間違ったのかを明らかにして解答を見るだけでなく、理解していきましょう。</p> | | | | | | |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>健康管理をして、欠席のないようにしましょう。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 総合看護技術の目的や事例の全体像が把握できる。 | 配布資料 | 事前学習 シラバスを読む 事後学習 国家試験合格に向け、目標、学習計画を立案する | |
| | 講義形式 | 各コマにおける授業予定 | 年間スケジュールや複数の患者の全体像を理解することができる。 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 複数患者の看護計画が立案できる。 | 看護過程 教科書等 | 事前学習 国家試験問題集等を使用し学習する 事後学習 間違った問題について調べ学習を行う | |
| | 講義形式 | 各コマにおける授業予定 | 複数患者の事例について優先順位や時間配分を考え患者にあった援助を考える。 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 複数患者の看護ができる。 | 看護過程 教科書等 | 事前学習 国家試験問題集等を使用し学習する 事後学習 間違った問題について調べ学習を行う | |
| | 講義形式 | 各コマにおける授業予定 | 演習を通して計画を修正し、安全・安楽な看護を実践し、ふりかえることができる。 | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 複数患者の看護ができる。 | 看護過程 教科書等 | 事前学習 国家試験問題集等を使用し学習する 事後学習 間違った問題について調べ学習を行う | |
| | 講義形式 | 各コマにおける授業予定 | 演習を通して計画を修正し、安全・安楽な看護を実践し、ふりかえることができる。 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 複数患者の看護が展開できる。 | 看護過程 教科書等 | 事前学習 国家試験問題集等を使用し学習する 事後学習 間違った問題について調べ学習を行う | |
| | 講義形式 | 各コマにおける授業予定 | OSCE: 事例展開 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|-----------------------------------|------------------------|---|
| 第6回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 専門基礎分野の知識が説明できる | 模擬試験 国家試験問題集 教科書 | 事前学習 国家試験問題集等を使用し学習する 事後学習 間違った問題について調べ学習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 身体のしくみや病態、健康支援について | | |
| 第7回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 様々な年代、性別、疾患、回復過程における看護についての理解を深める | 模擬試験 国家試験問題集 教科書 | 事前学習 国家試験問題集等を使用し学習する 事後学習 間違った問題について調べ学習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 基礎看護学領域について | | |
| 第8回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 様々な年代、性別、疾患、回復過程における看護についての理解を深める | 模擬試験 国家試験問題集 教科書 | 事前学習 国家試験問題集等を使用し学習する 事後学習 間違った問題について調べ学習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 成人看護学領域について | | |
| 第9回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 様々な年代、性別、疾患、回復過程における看護についての理解を深める | 模擬試験 国家試験問題集 教科書 | 事前学習 国家試験問題集等を使用し学習する 事後学習 間違った問題について調べ学習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 老年看護学領域について | | |
| 第10回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 様々な年代、性別、疾患、回復過程における看護についての理解を深める | 模擬試験 国家試験問題集 教科書 | 事前学習 国家試験問題集等を使用し学習する 事後学習 間違った問題について調べ学習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 精神看護学領域について | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 様々な年代、性別、疾患、回復過程における看護についての理解を深める | 模擬試験 国家試験問題集 教科書 | 事前学習 国家試験問題集等を使用し学習する 事後学習 間違った問題について調べ学習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 小児看護学領域について | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 様々な年代、性別、疾患、回復過程における看護についての理解を深める | 模擬試験 国家試験問題集 教科書 | 事前学習 国家試験問題集等を使用し学習する 事後学習 間違った問題について調べ学習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 母性看護学領域について | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 様々な年代、性別、疾患、回復過程における看護についての理解を深める | 模擬試験 国家試験問題集 教科書 | 事前学習 国家試験問題集等を使用し学習する 事後学習 間違った問題について調べ学習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 在宅看護論領域について | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 様々な年代、性別、疾患、回復過程における看護についての理解を深める | 模擬試験 国家試験問題集 教科書 | 事前学習 国家試験問題集等を使用し学習する 事後学習 間違った問題について調べ学習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 在宅看護論領域について | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 看護過程を理解したうえで判断する力や、課題を解決する力を養う | 模擬試験 国家試験問題集 教科書 | 事前学習 国家試験問題集等を使用し学習する 事後学習 間違った問題について調べ学習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 知識と技術の統合について | | |